

コロナ禍における 専門通訳ボランティア派遣 留意事項

1 外国人対象者、通訳ボランティアへの留意事項

- (1) 待ち合わせまでに手洗い、消毒をしておくこと。
- (2) マスク又はフェイスシールドを着用すること。
- (3) ソーシャルディスタンスを取る こと。
また、待ち時間が長時間に及ぶ時、同じ場所で待たなくても良い。だ
いたいの目安時間を聞いて再度集合すること。
- (4) マスク着用やソーシャルディスタンスを取る ことにより、双方の声
聞こえにくくなるため、聞こえやすいような声量で話す事を心掛けるこ
と。
- (5) 例外的に、コロナ禍での状況では、歯科のように診療スペースが狭い
場所やマスクを外さなければならない状況においては診察室外で
治療前の確認、治療後の説明をまとめて通訳させていただくよう財団か
ら派遣先機関に依頼してあるので、現場でもそのように伝えること。
- (6) 派遣先機関による検温や消毒などの感染防止対策に協力をする こと。
- (7) 派遣日当日や当日までに発熱又は、咳が出るようになったら、財団に
連絡すること。

2 派遣先機関の関係者への留意事項

- (1) あらかじめお伺いしている感染症対策及び、ソーシャルディスタンスが
取れるようご配慮をお願いします。
- (2) 待ち時間が長い場合、通訳ボランティアは別の場所で待機しますので、
適切な再集合時間をお知らせください。
- (3) 通訳ボランティアの基本事項
 - ① 通訳ボランティアは、秘密を守り、中立的な立場で、正確な通訳に
努めるものです。アドバイスや意見を言うことはなく、依頼者と個人的な
付き合いはありません。
 - ② フレーズごとに通訳をする逐次通訳です。例外的に、コロナ禍での状況
では、歯科のように診療スペースが狭い場所やマスクを外さなければ
ならない状況においては診察室前で治療前の確認、治療後の説明をま
とめて通訳させていただきます。
 - ③ 予習をして通訳に臨みますが、不確かな事や不明な言葉については、
その場で確認させていただきます。
 - ④ 通訳以外の要件や、あらかじめ伺っていない要件はその場で受けかね
ます。
 - ⑤ トラブルに関する通訳や、医療通訳において症状が重篤な場合や重要
な告知についての通訳は対応しません。

⑥通訳ボランティアは法的責任を負うものではありません。

⑦診療が継続する場合、派遣する通訳ボランティアが変わることがあります。

ます。